

八雲藍逆レイプ合同

嫩ウ

九ナ
尾リ

のキ
ユ
ウ
ビ

サ
ク
擦ク

セ
イ
精イ

ホ
ウ
報ウ

コ
ク
生ク
口



ふたなり
女性上位

DOJIN

R18

成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止

俗に人が言う
「スーパームーン」のような
月の影響が増幅する暦は
度々訪れる

ただでさえ満月には
獣も妖も狂わせるが、
これほど強い影響は
力を御せる強い者すら
惹かれてしまうほど

特に獣の性質を持つ子は
影響を受けやすく、
有り体に言えば総じて
気が強くなり暴走する

良からぬ事を考える輩も
やたらと増え、
観察や警戒を怠れば
トラブルや異変にも
なりかねない……

……んだけど、
ちよつと冬眠
しちやったかしら

時期がばっちり
被っちやったのに
寝過ぎしちやったわねえ……

藍には久々に
仕事を任せっきり
しちやったけど
平気だったかしら……

まあいいわ……

らーん、ちよつと
バックログ出してー

はい紫様。
こちらに

まさか月に酔って
馬鹿な真似してるなんて
事は無いでしょうけど……

おつかれさまー。
悪いわねえ引継ぎ
遅れちゃっ





二度見

……なんでそんな
エロ同人の表紙みたいな
恰好してるのかしら？

裸前掛けで
ございます

裸エプロンみたいな
常識ワード面で
言わないで頂戴

こぼれてる
こぼれてる

疑問の氷解の為にも
ログをご覧頂ければ

やべーなんだか
ワクワクしてきた…
武者震いかしら

いえ嫌な予感かと

やめなさいよ
そういう時だけ
的確なの

どた

びび

ええーつと……
確か月の影響が
大きくなる時期
重なったわよね

その時なんとも
なかったかしら？

端的に言えば過去の事案と
独自の実験結果を合わせて
検証しておりました

その結果、
妖怪の食糧問題及び
それに伴う弱体化問題に
進展がございました!!

胸圧を
浴えるな

どい
というかおもむろに？
メイクで何やったの？

ちよつとお
そもそもそんな指示
私してないわよ？

しかもよりによって
この時期に？

貴女自体が
月に影響されまくって
異変起こしたとか
そんなオチ止めてよお？

ハハハまさか
そのような冗談

オメーその言葉
覚えてろよな

まあとにかく
目に通すから
そこであつ……

-目次-

- むむむ/序論と検証
- いくたたかのん/尾の刑
- にっしっし/今日日の九尾の獲物くん
- ふんぼ/藍様 vs コス藍くん ~触手尻尾危機一髪~
- すたーきー/九尾狐の発情期~Extra~
- カゲヒト/すいーてい・ふおつくす
- 木陰/酒癖悪きフーヤオ
- わいるどきやっと/八雲式圧(迫)搾(精)
- まきん/おためし! 狐と猫の掘り比べ
- 宮瀬ぬっこ/前門の猫後門の狐
- オザワヨシ/九尾式新婚フローチャート
- とるく練治/国を駄目にするこども尾布団
- ジーノ/式神チートにご用心
- ぎん/八雲さんちとたのしいマゾ豚
- 梅澤一手/狛九尾様の人間椅子
- そうやん/キツネ憑かれの末路
- むむむ/考察と結論

実験対象は無造作に選んだ複数の青少年。全て人間の雄。様々な状況を想定し、決して傷付けずに性的に襲う。どれがどれ程妖怪らしく奪い、冒し、畏れられるかを計る実験だ。

そう、此度は妖怪の源の二つとされる「畏れ」なるもの。感情や感覚を埋め尽くし、存在感や脅威性を強く認識させた時、我等妖怪の飢えは満たされて、より強く在れるのだ。それを二人の人間からどれほど効率よく得るかの検証が目的だ。

大結界で隔てる前は人の世に紛れ、関わり、危ぶみもし、時には命を奪い陰惨に血肉を貪ってみせて得ていたものだ。しかし大結界に覆われた今は人間の数がすっかり限られた。かつてと同じように貪り回ればすぐ数は尽きてしまうだろう。それにより大結界内の妖怪は徐々に力を弱めている。云わばこれは食料問題なのだ。紫様もふと憂う程度に重要な。

だが私の仮説通りなら、コレで同じ人間から何度も畏れられる筈。うまくいけば食料問題も解決、紫様も喜んで下さるだろう。♡



まずは性的な凌辱が妖怪の糧に繋がるかを改めて確認しよう

それじゃお待たせ……つとすまん、焦らし過ぎたかな？

おふ……妖怪に攫われ監禁されたというのに、興奮したのかな？

おつと嘘は良くないぞ？ほら、私の尻尾に巻かれているトコ♡

ココはもうがちがちなやないか♡

私が記録している間ずうつとゆいっくくりしこされてさあ♡

……放ってしまったら喰ってやる、って先程伝えた筈だがなあ？

ふふ♡その顔可愛いぞ……♡ご褒美をあげたい所だが……

人風情がこの私に嘘をついた罰は先に必要だよなあ？

だから今から……お仕置きとして君を味見しようと思っ♡

さあてさて、これから君のどこを食べちやおうかなあ？

耳たぶかな？小指かな？目玉いつこ踊り食いもイヤかなあ？

九尾に愛でられる誉れを嫌がる失礼な子なんだからなあ……？

震えてる震えてる♡尻尾の中でぶるぶるしている♡可愛い……♡
持てる全でを使つてこちらを知り、感じ、畏れている。
全でを私に捧げた剥き出しの感情、見ているだけで腹が疼く。
やはり人を襲うのは良い。もつと見せて。叫んでもがいて愉しませて。
可愛い。食べちゃいたい。いつそこのままきゅうと締め潰して……♡

おつといかん！実験中に昂つては。これは今宵の月の影響か？
只の暴力ではすぐ壊れるし抵抗も激しい、何度も簡単に喰らえない。
故にいきゅうつてしてあげるのは……ふふいあくまでコツチ♡



おつ

おつ

おつ

他にほとんどな犯し方が効率が良いかたろうか？
なあにも協力を頼んで、数多のシチュエーションで模索しよう。
この度この月は明るく長い。猶予はまだただたくさんある……♡

くふふ、良い良い♡愛い声でいきよる♡実に良い♡
これだよこれ♡彼は今犯され弄られ、私という妖怪を畏れている。
死の予感と快楽との混乱で、雄が雌に押し倒される尊厳の崩壊で。
抵抗虚しく精を放つ瞬間なぞ、喉笛を食まれた獲物の断末魔のようだ。
そで血の一滴も流じでないのに獲物を弄る愉悦はむしろ倍以上だ。
一度イかせた程度の精气とは思えん満腹感だ。実験は成功だな。
むしろ普通に喰らうより美味しいし腹持ちも良いかもしれん。



さて。これから新たな調査や記録、
 更にはかつてヒトに施した「いぢめ」の想起も必要になる。
 やる事は山ほどあるが、仕掛る前から焦っては上手く運ばない。
 少し腕慣らししてから動きを掛けるべきだな。
 ……そうだが、オス相手の手加減も思いつかないといかん。
 少しばかり興が乗って本気のもてなしを施そうものなら、
 一日千搾程度の責めにも耐えられず気づけば果てている。
 なんとヒトとは弱い生き物だろうか。
 なあ「人間様」……？



あーあー。何をされるか分かっていてもう腫らしているのか。
 四肢を巻き取られて一糸纏わぬあらぬ姿を晒して、
 これからたつぷりと責め苦を味わうというのに。
 くすくす。羞恥、興奮、しかと伝わっているよ。
 ……だが期待に添えずに申し訳ないな。
 私は手は出さない。裸体を晒すことも無ければ
 はしたないお前の肉棒に触れてやることも無い。
 ただ私は、お前と我が尾との戯れをじっくりと視姦るだけさ。
 ……どれだけ可愛い姿、見せてくれる？





む、そう脚を閉じられてはお前の無様が見辛いだろう。
ほうら、腹から膝まで隠せないよう、しゅるりと巻いて……と。
これなら肛門に蟻の門渡りに肉棒まで、お前の性感帯の一挙一動
余す事なく見物出来るな。どうだ？我が尾もなかなか賢いだろう？
主から毛並みの艶もふもふの柔らかさをお褒め頂くが
その実、力強さと韌やかさを兼ね備えた優秀な責め具なのだよ。
機嫌が変わり易いのが玉に瑕でなあ、いまいち私も制御じきれん。
あまり暴れて機嫌に触れば、四肢ひっこ抜かれるぞ？



なあに安心しろ？
我が尾達はお前のようなオスが大好きなんだ。
こんな時にもペニスを勃たせて先走りを進らせてしまう
情けなあい、いやらしいオスがなあ。
お前が悦べば悦ぶだけ機嫌を良くしてくれるだろう。
お前の羞恥、たとえ食らわせておくれ……♡

つとらうわ……まだ軽く包んだだけだろ。もういつたのか？
ふふ。牝を孕ませるような勢いだな。そんな所に種を放つた所で
大気の子りにしか当たらんぞ。生殖器の使い方も分からんか？

はは、ぐしゃぐしゃに歪んだ良い顔をしている。
譫言に高ぶらされて昂ぶつて、いきたくもないのにイカされる。
それも柔い尾が撫でただけのこそばゆい刺激で。
それがお前がこれから味わう羞恥の一片だ、しかと堪能しろ？
ふふふ、イヤイヤと首振ったってもう遅い。
まだまだだっぶり辱めてやるからな……♡



そら、今度はより近くで鑑賞させて貰おうか。
尾もお前の更なるヨガリ狂いを心待ちにしているよ。
良かったなあ？ まだまだふわふわで擦られて包まれて
しゆるしゆるぢゅこぢゅこ♡っていぢめて貰えちゃうなあ？
……お尻もお股もまだひくつかせて、いき余韻止められないまま
「もっとして」って期待しちゃって。かわいーんだ♡
このまま尾如きに、中身全部搾り出されちゃうなあ……♡

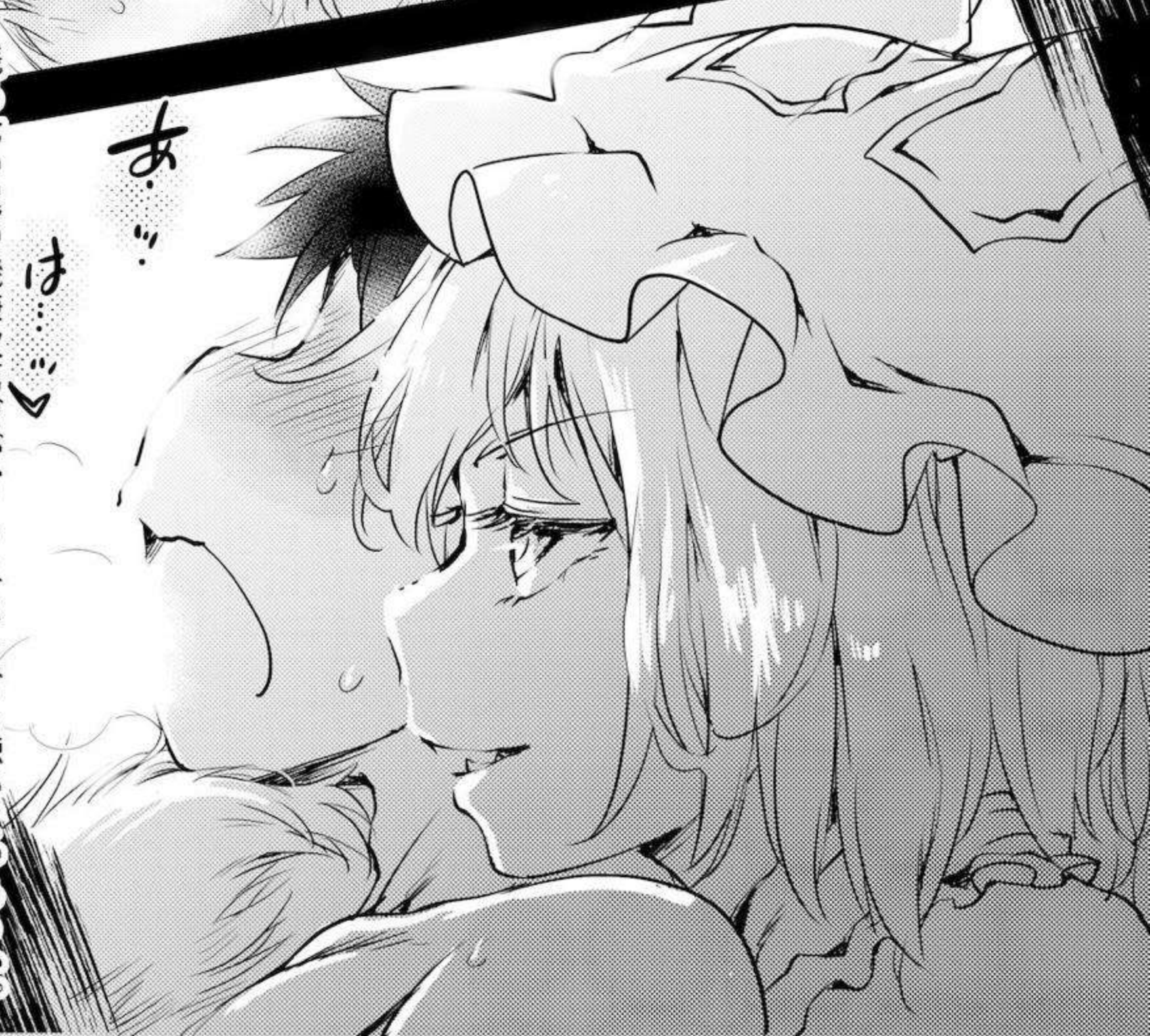


いいち、にーい、さーん、しーい……あーあ、また出して。
折角十つ数えるまで耐えられたら二つ休憩でもと思つてたのに。
そんなな気に入つたのか？ 私の尾がすみずみじゃれつくのが。
折角私のような女の姿のあやかしが後ろにいるというのに、
尾に虐められる方を選ぶんだなお前は……。
まあ、構わんよ。目先のミスより二方的な羞恥搾精を選ぶのも、
お前のような恥ずかしい変態に相応しい快樂だろうしな。

ところで辛そうな所恐縮だが……私も尾もまだ満足してないぞ？
九つ尾のうちたったの二つしかお前を堪能してないもの。



残る七つ尾の機嫌次第だが、リクエストでも聴いてやるるか。
根本をぎっちりきつく巻いて、磨くように激しく？
睾丸から亀頭の先端まで柔く包んで、蕩けるように優しく？
乳首や尻穴、お前が感じる弱い所を擦りながら？
……また興奮しているんだな。興奮して言葉も出せずに
いちめられるの期待してる。根っからのマゾだよお前は。
そんなマゾにご褒美だ。今の選択肢全て使つて搾つてやる。
女相手に手も足も出せずに手も足も使わず射精させられる。
かあいいお前にびつたりのご褒美、たんと愉しめよ……♡



この辺の路地裏は人里の中でも人気が無い。助けなぞ来ないぞ？
それで私の後を付けた理由は？
ふん？どうせお前も私の体が目的だったんだらう？ええ？おい。
何だ？だんまりか？よもや人里だから安全だと高を括ったか？
侮るなよ？血も痕も残さずに痛めつけるくらいワケもない。

例えば、お前ちゃん、お前と同じ、相手を犯して甚振るモノ。
そんな姿だどお前のようなおバカがよく体を狙うんだよ。
妖怪は人里で揉めると不利な事を逆手にとって脅しながら、な。
私はそういう輩は……ケツでも掘って返り討ちしているんだ
侮つた女に、望み通り、されど逆に……それもお尻なんかで
無様すぎて二度と姦淫など犯せなくなるくらいにな

ドニッ

あ

何？たまたまたど？道が同じだったただけだど……？
ふふ、わかりやすい嘘を付くものだな。私は騙されないぞ？
ほおら、つとわかるよな？柔らかな尻尾だと思つて侮るなよ？
人間如きその気になれば一息で締め潰せるんだからなあ……？
ほれほれ素直に白状すれば優しくしてやるぞ。ほおれほれ……
……おや、おやおやあ、なんだなんだ？がちがちなやないか
締め潰す等と脅されたのにはははは、とんだ変態も居たものだ
やはり私の体狙いか、嫌々してももう騙されないうぞ
ふふ……尻尾でコかれて勃つちゃうな、もう隠せないなあ
体は正直だ、尻尾でコら言葉で弄しようとして動かぬ証拠だ
お前はこれから罰として……私のちゃんぽに犯されるんだ

ミッ

グイッ

さすっ

さすっ

あつ♡は♡いいぞ♡……♡んふ♡……♡
くく♡まだ違う♡違う♡で抵抗するの♡か♡嘘吐きめ♡
ナカがきゆうきゆうしてきて♡気持ちいいだけぞ♡……♡
お尻、大分解れてきたな♡才能力あるぞ♡オナホとしてな♡
あ、また嘘付いたな？あ、あ、お仕置き追加だ♡
いや、嘘さ。だって……ふふ、もう出ちやいそうなんだろう？
扱かれながらっ♡ちんぽに、お尻ほじられてっ♡なあっ、なあっ♡

んっ……♡こら♡逃げようとするな♡お仕置きなんだぞ……♡
気持ちいいトコ擦れるよう、尻尾で縛っておいてやる……♡
まあ、叫ぶくらいは構わないんだがなあ？
ああ、好きだけ助けを呼べ♡善がつて喘いで喚き散らして、
妖怪にケツ掘られて感じてる所を見つけられたら……♡
どうなっちやうのかな？後で噂されちやうな……？



くくっ♡くふふふっ♡黙っちゃった♡可愛いぞ♡
そうだよなあ♡ケツ犯されるのすっごく気持ちいいもんな♡
尻尾でがっちり巻かれて逃げられないままもじもじしちゃっつて♡
こんなメスイキお漏らし撒き散らして違うなんて言えないな♡
嘘を付くな♡ほら、ほらっ♡じゃあ何だこのがちがちのちんぽは♡
路地裏で知らないちんぽに掘られて感じてるやらしいケツは♡

ははっ♡返事の代わりにお漏らし射精か♡変態め♡
いいだろう……♡気に入ったよ。今晚私に買われてくれよ。
な？大丈夫、次は優しくしてやる♡抱きながら愛してやる♡
連れ込み宿にでも入っつて、二晩ずうつと可愛がつてやる♡
まさか断らないよなあ……♡ふふふふ……♡



ははっ♡返事の代わりにお漏らし射精か♡変態め♡
いいだろう……♡気に入ったよ。今晚私に買われてくれよ。
な？大丈夫、次は優しくしてやる♡抱きながら愛してやる♡
連れ込み宿にでも入っつて、二晩ずうつと可愛がつてやる♡
まさか断らないよなあ……♡ふふふふ……♡

「お下がりと言えは聞こえは悪いが、着心地は保証しよう」
言われるがままに着せられた服。

鏡の中の僕の姿は、まさに彼女そのものでした。

首元で留めであるだけの服は肌着にも似たほど軽く、薄手で、
更には腰から広がるフリルが太ももをくすぐります。

「お前さんには間違いないく似合うだろうと思っていたよ。
ふふ、可愛らしいなあ？ 本当に女の子のようだよ」

女の子

頬がかあつと熱くなり、思わず鏡から視線を反らそうとしましたが、
掌が額を緩く包んでそれを許しません。
「だあめ」

DD
DD
Z

空いた片手がするりと前掛けの中に滑り込んで、

まるで着せ替え人形の出来を確かめるように隅々を這います。

首筋から始まって、胸板、へその辺り、そして下腹部へ

自然と内股になった股間を撫でて最後、

とうとう僕の硬くなったトコロをいたずらにまさぐると、

「みーつけた」

と、そのままスカートの内側を晒されてしまいます。

「あらあら、はしたなく腫らして……いけない子」

諭すような言葉を前にしても、僕はただ瞳を潤ませることしか出来ず、

ただとろけたまま鏡の向こうの彼女を見つめ返すのです。
「お仕置きた。このまま『お出かけ』してみようか」

「声を出すなよ。バレるぞ?」
そうは言っても、こんな状況で声を出すなど言う方が無茶です。
往來の目の前で、女の人に密着されたまま、手でされるなんて。
声押し殺しながら必死にスカートの裾を握っているうちに、
足が、下着の中が、興奮にじつとり蒸れて滲んでいきます。
「さら、スカートちゃんを持ち上げて」
くすぐったさが内ももを襲ったのは、僅か服を持ち上げたのと同時。
彼女の柔らかな尾が、足を、おちんちんの根本を、
下着越しにしゅるしゅるとまとわりついてきたのです。
息が大きく荒ぶって、直ぐにでも喘ぎが漏れてしまいそうで、
それなのに彼女は、僕のを淡々とこすって意地悪するのです。

「こんな往來で、女の格好でおちんちんいじめられて……
それでも興奮しちゃうんだな、お前は」
彼女が弄ぶオトコの部分は、既に自分のものでたくさん濡れて
ふわふわの尾が甘く包んで締める度に、いやらしい水音を立てます。
「バレちゃう、女の子の格好してるの、恥ずかしいの、バレちゃう。
こんなにヘンタイなことしてるの、バレちゃうのに!」
最早声すら我慢出来ないまま、僕は精液を放ちました。
どぶどぶと漏れ出していく感触が伝わって気持ちいい。
「いっぱい出して良かったねえ?」
女の格好でよがるの、どんだん癖にしてあげるからな……!」

ふふ♡お尻、溶けちやいそう？
ふふ♡うるさい溶ける溶ける♡

おあ……♡ふふ、はあいかんせい……♡
お尻、すっかりメスにされちやつたなあ♡
お陰ですっかり……私のを受け止める肉オナホだ♡
九尾の技を髓まで使つて解してやつたんだ♡
生意気にも私を惑わした罰を堪えながらなあ♡
く……♡全……♡ありがた……♡思えよ？
何なら濡らさずぶち込んででも良かったんだ♡



ふふ……だいたい何だこのやらしい尻は……♡
コレで私を誘惑しに来たの？
こっちは今発情期だといふの？
そんなわるいお尻は、お尻を向いてよらん♡
二度と悪さしないで、お尻を向いてよらん♡
ほ……ちやんとお尻を向いてよらん♡
も……逃げた……ちやんとお尻を向いてよらん♡
孕……逃げた……ちやんとお尻を向いてよらん♡
逃げないで……ちやんとお尻を向いてよらん♡
逃……逃げた……ちやんとお尻を向いてよらん♡

あん♡ん♡ふ♡ふ♡♡♡気持ちいいぞ♡♡
もうそこらの雌より女の子みたいなのになつちやつたな♡
きゆうきゆう吸い付いてきて♡私の子種がそんなに欲しいか♡
ふふ♡もうじき♡ん♡望み通り、中に出すからな♡
こらこら♡今更抵抗するな♡お前がいけないんだぞ♡
おら♡いい加減認めろ♡諦めろ♡今のお前は私の女♡
いやらしく♡子種をせがんで誘惑する雌なんだ♡
ふう♡う♡つ♡♡♡♡ふ♡ん♡ふ♡い♡そ♡う♡だ♡♡それ♡で♡い♡い♡♡

くふ♡ふ♡つ♡...♡そろそろ♡
御褒美あげないと、なあ♡

出すぞ♡♡ほら出すぞ♡♡孕め♡♡ふあ♡ん♡♡ふ♡つ♡♡
ふふ♡ふ♡す♡つ♡かり種付け♡♡されちやつたな♡
九尾の子種を孕めて幸せだろう♡悦べよ♡ほら悦べ♡
悦べ♡♡つ♡で♡言♡つ♡てる♡んだ♡ぞ♡♡私♡が♡♡ほ♡ら♡悦♡べ♡
今夜はお前が孕むまで種付けレインプ止めないからな♡



拝啓、私は今、お付き合っている九尾の狐に
お仕置きされています。

「私ほどの女を持って余すなど男冥利に尽きるなあ？」
そう彼女が一言呟いたかと思えば数秒後にはこの有様で
確かにここ最近忙しく約束も蔑ろにじしてしまいましたが……
言い訳に聞き耳を持つてはくれず、ただ淡々と股間を扱いては
時折ため息を零しているのです。

「……いい加減反省したらどうだい？」
反省はしているし、何より巻き付いた尾が僅か緩むタイミングで
確実にこちらの「ごめんなさい」は聴こえている筈なのですが
帽子の中の大耳が傾げて聴こえないフリをしています。
絶頂の度に激しくなる手扱きが彼女の怒りを伝えては
ただひたすらに手コキで搾り取られてしまいました。

なんとか声を出そうと試みても
尾が全身ミイラ巻きにしては離してくれず、
彼女の冷たい態度とは真逆に
体をぎゅうぎゅうむわむわと蒸し焼きにしてくるのです。



ようやく開放された頃には意識も遠く、膝はガクガク大笑い。
搾精の余韻に放心するさなか、

「反省出来た良い子には褒美もやらんとな？」

優しい声色に堪らず、あれだけ抜き取られた肉棒が反応します。

流石は大国に名だたる大妖怪！その御慈悲に感謝……！！

お付き合ひさせて頂いでる身としてなんとか男の意地を見せねばど

期待を込らせて必死に肉棒を隆起させておりますと、

「私の尻で見抜くのを許可しよう。よもや本番など考えてはいないな？」

……私は言われるがまま、僅か残る精子の余りを

大きな絹肌の御尻へと放たせて頂きました。

くすくすという嘲笑と横目の軽蔑をたつぷりと浴びながら、

そして当然想像していた褒美——その極上の交わりを想像しながら。

ただただこちらを弄びたいだけなのか？

はたまた慈愛ゆえの狐からかいなのか？

そのどちらとも分からぬまま、彼女の機嫌が戻るまでの日々を
悶々と過ごす事になりそうです。



酒宴。和酒洋酒の香の入り混じりにうかれた喧騒。その端で戯れに興じるのは、大瓶を空けたばかりのうわばみ狐。「私の酒が飲めないなんて不届き者にはバツ、だなり。」そうは言うものの、妖怪の酒精耐性は人間の比ではない。今しがた徳利から呑み干した酒も人間なら水割りですぐ昏倒する度数。つまるところ彼には、罰とやらに付き合う以外なかったのだ。「今日は妖怪も多い。鼻の良さで気づかれるかもしれないぞ？」はたから見れば迷惑に絡まれているだけにも見えるが、その実大尻尾に紛れた藍の掌は、少年の服の中に潜り込んで愉しげに吐精の粘液を掌で弄んでいた。



酔いの中の絶頂に体はおぼつかず、ふらつく脚をなんとか尾が支えてはその場を後にする。「おおつと、たまの酒で張り切りすぎてしまったよ。体が普段より余計に火照って堪らんぞな」彼は見ていた。酒宴が始まってから主の愚痴が終始止まらず、彼でも呑んで来なさいよ」と周囲に言われて。こちらの近くにお冷を取りに来ていたはずであった事。だが酔っぱらいの常。素直に水を飲む訳も無ければ絡まれて逃れられる筈もない。「ああそうだそうだ、私には酔い覚ましが必要だったな……♡」



私に告白してくるなんて、なかなか度胸あるじゃないか。
 しかし、この九尾の寵愛を受け止めには
 幼過ぎるように見受けるが……ふむ。
 いや、見かけて判断するのは人間の癖、妖怪の私が
 そのようなつまらない事を言っではいけない？
 先ずはじっくり味見して、吟味して
 次第によつては最後まで味わつてやろうじゃないか♡
 ほうら、オソコノ好物のおっきなおっぱいだぞー♡
 たぶたぶふるふるの私の愛にお前は耐えられるかな♡



そうら、たぼん♡たぼん♡って激しく優しく包む
 もっちりたぶたぶパイズリ責めえ……♡
 ただ包み込んでるだけで襲う乳の圧に
 とろとろ絡み付いてくる雌肉の弾力♡
 そこに添えて与える圧迫感♡まるで天国だろう♡
 ほーら頑張れちゃん♡負けるなちゃん♡
 もつともつとお射精堪えて、私を愉しませておくれ♡



どうした？ちんちんずいっと震えっぱなしだぞ？
そうかし、もうイきそうになっちゃうてるんだ……♡
くすくす……♡我慢して回つぐんでる顔、かーわいい♡
良いぞ良いぞ♡その我慢ごときゅーつて押し潰しちゃうからな♡
こうやって両腕で引き寄せたらあ……ふふ、
おっぱいきつきつきゅーきゅー♡
乳圧すつごいねー♡もう我慢できなくなってきたの
おちんちんのピクピクで分かつちゃう♡
良いぞー♡このまま搾り取ってあげる♡

おーすごいすごい♡おっぱいの中で
びっくんっ♡びっくんっ♡って跳ねてる……♡
こんなに精液撒き散らかされては、
折角お乳で閉じ込めた意味がないなあ♡
隙間からびゆるびゆる溢れて止まらないね♡
ほーら、おしっここの穴に残ってるのも出すの♡
折角お射精キめたんだ、
ひと雫も残さずにちやーんと全部出すんだぞ……♡

この若さでこの量なら合格といつた所。
まだまだ愉しませて貰うとしようじゃないか。
……おいおい、二度出した程度でへばるなよ？
大妖怪の寵の重み、まだまだ堪能して貰わないとな♡

んふふ……入れただけで直ぐにお漏らししちゃって♡
にゆるにゆるぬぷぬぷ絡みつくひだの感触、
これがあらゆる人間を虜にしてきた
『九尾狐の傾国のおまんこ』さ……♡



ほら、目閉じて、舌出してみろ？
……ああそうか、あははっ、キスもまだ不慣れか。
この辺りは数をこなして覚えて貰わんとだな♡
ほら、こうしてついばむようにして、
長くくむちゅって押し当てで、
時には舌をれろれろって互いに絡めてえ……♡
……んふうっ、あらあら。おちんちん良すぎて
キスする度にびゅーびゅー♡びゅくびゅく♡
可愛いらしい、可愛いらしい♡
嗚呼、可愛らしすぎてこのまま壊してしまいたいだよ……♡



ほららっ、出せ出せっ♡

この程度では私を満足させられないぞ♡

くふふっ、いっぱいイッてるのに幾らでも濃いの出でくるぞ♡

君の頭が追いつかなくも、身体はもう理解してしまってるんだ。

このまま私に全て搾り取られるってコト……♡

なあに、これは私とまぐわっていく内のただの二回。

まずはこの交尾で覚えるんだ。

大妖怪の雌肉の重みっていう奴を、ね♡

ほらほらっ♡ おまんこの事だけ考えてえ♡
しっかり一回二回のびゅくびゅくを味わうの♡
ツライ？ 苦しい？ なあに、それもいずれクセになっでしまっさ♡

くすくす、子宮の中でお前の種でなみなみに揺蕩って……
これでは孕んでしまいかも分からんな♡
狐は多産なもので二度では足りんからなあ、
まだまだきばって貰うからな、愛しい私の『旦那様』♡

往来を歩く少年の背後に、二匹の妖獣の影。

「ねーねー、ちよつといひー？」

「少しばかりうちの式神と揉めてしまつてな。『いっぱい練習して腕を上げたからもう藍様にも負けな』と言つて聞かないんだ。」

「良かつたら付き合つてくれないか？」

「何の事かも分からないまま路地裏に連れて行かれると、藍と橙が支度と言いなからおもむろに服を脱ぎ始める。」

「少年が慌てて目を覆おうとする刹那、眼前の掌を払いのけて三本の肉棒が突きつけられていた。」

少年が慌てて目を覆おうとする刹那、眼前の掌を払いのけて三本の肉棒が突きつけられていた。



「ああ、言い忘れていたが腕試しとは」

「『シヨタガキメス堕ちケツ穴陥落』の腕の事でな♡男の子を女の子にする色戯れは私も手慣れているが流石に式に舐められてはいられん♡」

「んふふー♡お忙しくしてお遊びの暇のない藍様よりもいっぱいシてきたあたしの方が凄いのよ♡♡♡」

「こないだ墮とした子なんて自分からお尻広げてオネタリしてくるようになったらちやっただから♡♡」

「左右から伝わる三本のメスチンプの熱気が少年の理性を蕩かしていく。」

少年の理性を蕩かしていく。

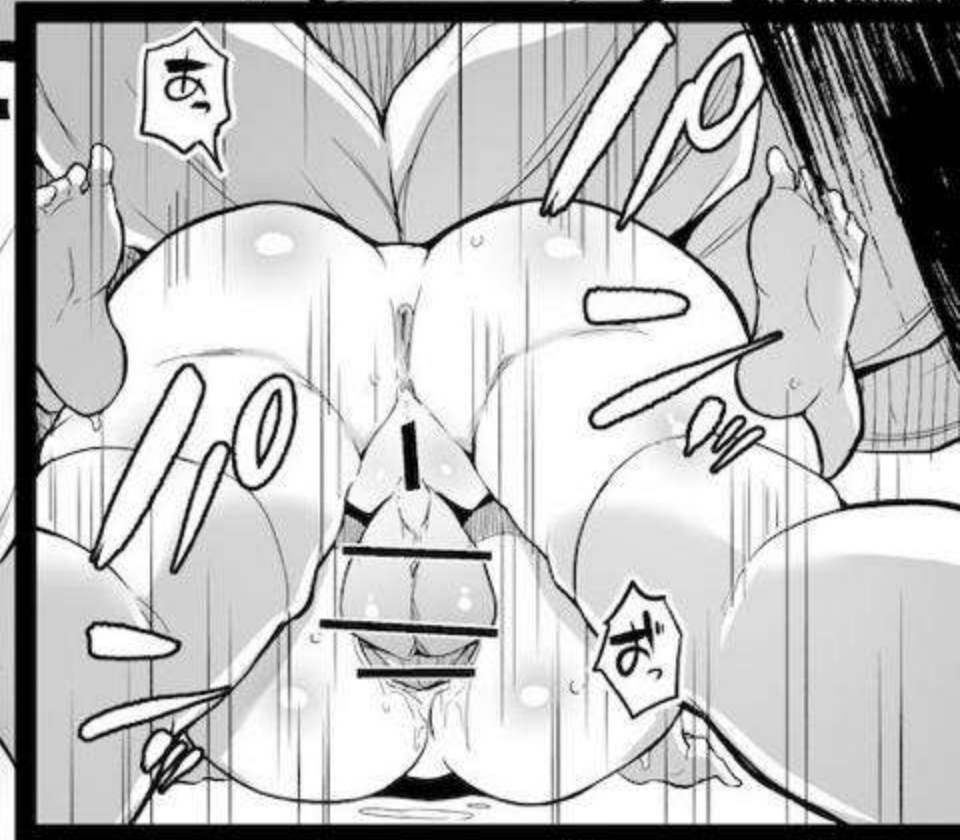
「ほらッイケッ♡イケッ♡雑魚まんこホジられてイケッ♡」
 橙の獣の腰づかいが同体格の少年の体を神輿のように持ち上げては
 未拡張のオスアナルを押し拡げて、執拗に前立腺を乱打する。
 「あははっ♡おちんちん感じてるの尻尾で分かつちゃう♡」
 無理やりサレてるのにアへっちゃうなんてさいつていなオスマんこ
 最初から妖獣オナホに生まれて来てれば良かったのにねっ♡
 否定したくとも尾に縛られていては抵抗すら出来ず、
 背筋が虚しく弓反りして悶える他ない。
 自らより遙かにたくましい妖獣メスちんぼの圧倒的な異物感が
 彼の肛門を快楽器官に開発していく。



根本まで引いては最奥まで突き込むピストンが思考を淫蕩に染め、
 曖昧に漂う思考だけが橙の肉槍を受け入れていく。
 「君はメスなんだよ♡おちんちんぼでホジられてイカされる、
 とつても卑しい恥ずいメス♡おちんちんぼじゃイケなくなるくらい
 いっぱい悦ばせてあげるからね♡そーらっ分かつた？
 分かつたらあつ、ホラ舌だせ舌ッ♡お口でも御奉仕するんだよッ♡」
 貪るような舌が口内を蹂躪しても、抵抗の意思は既に無い。
 親指ほどのペニスから押し出されていく薄い精液が、
 腸壁に刷り込まれる妖獣の濃ゆい精液が
 少年の心身に『メス』を徹底的に叩き込んでいくのだった。



「全く、手荒なものだ……激しいだけで品が足りん」
 藍は少年を抱きかかえて貫き、猫舌の余韻残る口腔を癒やしていた。
 その最中にもペニスには尾がにゅるにゅると這いメスに不要なもの
 精液をどくどくと搾り取っていく。その数既に八回。
 「ふふ、いく度にケツ穴がウネツてわたしのペニスに噛み付くよ。
 前立腺もじやれついで……確かに橙の言う通り、素質は抜群だな♡」
 射精の度に発生する反射反応が挿入された狐ちゃんぽを嫌でも扱いて
 メスの役割を果たしてしまい、更には繰り返し穿たれたアナルは
 藍の静止挿入を前に待ちきれず、きゅんきゅんと疼いて止まらない。
 「なあにい直ぐに犯してやるさ。こういう風に……なっ♡」



自らの豊満な体で包み込む正常位は、
 ただの一突きで少年の肛門を絶頂へと追いやる。
 牝肉と九つ尾の布団から溢れた足先がピンと伸びては僅か暴れた。
 緩やかな前後運動は弱点を探るかのようにならぬこく少年が
 身悶えてしまふポイントを見つけてなお意地悪にそこをただ掠めた。
 「ほら、自分から言つてごらん？『藍様のメスになります』とな♡」
 疼いて止まらないオス子宮の欲求を前に回が開きかけたその時。





ぶちゅんっ〜と、少年の喉に猫ちゃんぽが突き立てられる。
「何言おうとしてんだッ♡君はあたしのメスでしようがッ♡
舌にもザーメンの味教えてあげないと分かんないみたいだねっ♡
酸いミルク味の残る猫ペニスが口腔を満たす強制フェラに
呼吸はままならず、腕ごと足で押し付けて逃さない。
藍も申し合わせたように疼いた前立腺を狐惑の肉棒で殴打する。
「なに、声に出す必要すらない。お前はわたしのメスだものな♡」
上からは強制奉仕のピストン、下からは藍の躰のピストン。
全身痙攣しても逃れられない快樂責めはが夜明けまで続いた。



日が登る頃少年は気絶していた。
途方の無い絶頂感に気絶しては挿入の感覚に起こされるループ。
只の幼子が獣の欲望に耐えきれぬ筈もない。
「あーあ。結局どっちが良かったか聞けず終いでしたね。
まあ気持ちよかったから別に良いんですけど」
「適当に捕まえた子供にしては中々良い具合ではあった。
このまま屋敷連れ込んで、飼いやオナホにでもしてやるのか♡」
「いいですねー♡この薄っすいザーメンの味も好みなんです♡
ミルク用ザーメンサーバーにしちやいたいのと思っただんです♡」
すつかり塞がらなくなった肛門から二四分のザーメンカクテルを
溢れさせながら、少年は未だ収まらぬ余韻にびくびくと
震え続けるのだった……。

お尻を掴んだまま舌を伸ばして、穴をぐりぐりゆーりと甘くほじる。
私の少しざらざらとした獣の舌は刺激が強すぎたのか
捻じ込んでやっただけで可愛く身悶えし始めた。愛い奴よ♡
お陰でだった今絶対にお尻でイかせてやると心に決めてしまったよ♡

「雌みたいな声出ちやつたな……気持ちいいの？お尻で？
♡♡♡それならお望み通り……一度お尻だけでイかせてやろう♡
二度も気を失わずに朝を迎えられたら食べずに解放してやるぞ♡」

妖怪に捕まった人間の末路を、少し食い込む爪で思い出させてあげる
……ふふ、思い出したらいい♡すごい我慢してる♡可愛い♡
ああ私は今から、こんな可愛い子のお尻を雌穴にしてあげるんだ……♡

おちんちんで犯してあげるみたいに、舌でずぼずぼしてあげる♡
あれだけ悶えていたのに、可愛い喘ぎと共にどんどん弱くなっていく♡
ああもうイくのか♡はしたない奴め♡ほら早くイけ♡お尻でイけ♡
あああーっと叫んでも止めてあげず、そのまま舌を何度も何度も……♡

「……なんだ、もうイったか♡お尻気持ちよかつたな♡
ふふ、どうだ橙。コレもなかなか良いだろう？ふふふ♡♡

実験に初めて付き合わせた橙を最初要領を掴めなかつたみたいだが
流石は橙だ。人間の前で「待て」をさせて「先ず見せて試してみたが
人間の雄の色を癡猛に変えてくれたよ♡
瞬間で目の色を癡猛に変わってくれたよ♡
これなら今回の実験の良い協力者になつてくれそうだ……♡

「橙。……よし♡」

その言葉を聞いた瞬間、橙の表情が愉悦で歪み……

おあずけをされていた犬のように……はふ♡と。

獲物のおちんちんに優しく♡二息に食らい付いた……♡

「っっあっ……っ!!ひあ、ああああっ……!!」

うふふ、すっこのけぞり方♡そうだろう♡そうだろう♡

猫の舌は狐よりもさらさらとしていて、私でも搾り取られる♡

それに加えて私がしつかりと技を仕込んでやったんだ、

そんな舌と口に捕まえられて、人間如きが耐えられる訳が無い♡

尻尾を二本たちまちと、倒れ込むなど許さないよう巻き付けて、

余力を見せつけるようにしゅりしゅりと先っぽで撫でてやる。

ふふ、そうた♡理解しろ♡その気になれば骨ぐらいへし折れる♡

お前如き捕らえるなぞ尻尾だけで十分なんだ♡

「ひう、なか、ざらざら、してっ、あ、だめえっ……!!」
啜え込まれたまま、裏筋を少し擦られてもしたのたろう。
あの舌が来ると思うと命の危機すら感じるのも当然よなあ……♡
その畏れにこそられたか、橙もすっかりスイツチ入っちゃったな♡

「ふあ、ふふ♡藍様、お仕置きっつていつたじゃん♡」

「ひあ、あなんて生意気……♡ん、ちゅ……♡」

「ちゅっ……♡と橙が音を立てて吸い付き始めた。」

「私もそれに合わせて少し「奥」をほじり進めてあげてやる♡」

「ああ、沢山暴れていいからな♡絶対に逃げられないかなあ♡」

幼い掌の平手打ちと呻きが交互に鳴り響く。
男の無骨な尻は紅葉が重なるように赤く色付けられ
少女の愉悦を高ぶらせた。
「あはははっ、豚っでこんな風に鳴くんだったあ」
橙の平手打ちは幼子供のものではあがあるが、
赤痣で腫れた肌への繰り返し返しの仕打ちでは苦悶は
只ぶつものより遥かな苦痛を伴う。
声は拘束具にくぐもり、文字通り獣の悲鳴で喚いでは抵抗する。

ほっほっ...

ほっほっ...

おっほっほっ♡

おっほっほっ!!

無様に揺さぶった尻は懇願にしか見えぬ、橙は思いついたように
男の身体に筆を走らせた。正の字が2つほど墨で刻まれる。
「十回叩く度に落書きしたげる。それならお馬鹿な豚さんでも
分かるでしょ？自分が今何発叩かれたか」
かひゅっ、という呼吸動揺入り交じる興奮。人差し指で腫れた
臀部を撫で、腿を伝い、そのまま睾丸までを優しく撫でると、
隆起した肉棒がひくんと反応して悦んだ。
「マゾっというのが良いんだ。へんたい♡」
そう二度囁いて、平手がまた二つ彼の尻を愛でた。

「痛みには小慣れてきたようだが、鳴かない豚は好みでないなあ？」
腰に装着された極太の張形は、僅かな潤滑液を伴い黒光りしていた。
そのまま強引に腸内に突きこまれると、枯れた喉から
「豚というもの、鳴いてこそだろう？」
そのまま根本までをあっという間に貫いては
軽やかな抽送の腰使いを開始する。



圧倒的な異物感を前に背筋がのけぞり暴れるが、
藍の尾が首輪代わりに締め付け制止した。
「私は橙と違って、玩具の豚にも質と作法を求めるからな。
余り見苦しいようであればへし折るぞ？」
……美味そうな豚には見えんが、すぐ捌けば鮮度は良いだろう」
牽引に反る身体、それを矯正するように貫く疑似肉棒。
懇願の言葉も届かぬ雌雄逆転の交尾を前に
男は精栓から押し出される種をだらしなく撒き散らすのみだった。



「おーはーよう」
 妖しく囁く声色に包丁が硬直する。
 キャンベツを刻む猫の手が驚きに持ち上がると、見越したように
 彼女が頬を寄せて囁いた。
 「朝風呂の支度は済んだが……勤め柄、暇なのは苦手だな。
 湯が沸くまでに何かすることはあるかい？」
 もうすぐ支度が済むので、洗いの物でもするか、皿でも並べるかして
 とにかく大人しく待つていて欲しい。彼がそう思えど、
 耳元に近づく吐息は明らかに色気に満ちて誘蛾の瞳で彼を誘う。
 藍の体は、そういう時季にあった。

きゅ……♡

むひ……

静まり返った台所にちゆると舌なめずりが一つ。
 肌に滑り込む手蛇は湯船の支度に僅か冷たく冷えていた。
 温みを求めて密着して、男の薄い胸板の突起を探り当てて、
 そのまま摘んではくりくりと三つ指の腹でねちっこく弄る。
 「ああ温い。もう少し温い所があると助かるが」
 大きな掌が肉棒を覆ったのはその僅か後。
 背後からの包容に既に包丁は手を離れ、当然調理も中止される。
 小刻みな水音が亀頭を湿らせ、彼の身体は嫌が応にも
 誘惑に乘らざるを得なくなった。

はっ

にゅーにゅー♡

にゅーにゅー♡



っあっ♡

あっ♡

にゅーにゅー♡

今日もお勤めご苦労様♪
軍議に国儀に民への振る舞い、
一国の主に苦労は絶えないと見えるなあ。
あははっ、「そんなことないっつて?」
なになに、無理に取り繕わなくてもいいよ。
いくら気丈に振る舞ったって私にはお見通しさ♪

安心しておくれ。ここに居るのは私と君だけだ。
今は幾らだって、甘えていいんだぞ?

フル……

あらあら、勃つきしちやつたねえ♡
大丈夫大丈夫、女の子の裸見て勃つきしちやうのは
男の子の生理現象だもんな♡
全然恥ずかしくありませんよー♡

なあんで、少しばかり小馬鹿にしすぎたかな。
でも君が望むなら、そんな風に甘やかしてあげてもいい。
おちんちんはもう待ちこらえなくなってるけど……
君の言葉で聞きたいな。……君は、どうしたい?



んふふっ、意外と素直なこと♡こんな所を甘やかして欲しいなんて
イケない赤ちゃんだ♡でも……安心しておくれ♡
しつかりたつぷり、又キヌキしてあげるからな♡
んふっ、んっ、えううっ……
もし、お尻の谷間ニガくてしよつぱくで、きちやないぞ？
おちんちんの側もえつちにもわあつてにおわせて♡
王は座るのが仕事とは言っても、こうも蒸れてたら
かぶれてカユイカユイになつちやうぞ？
ほうら、お尻の穴締めないの♡恥ずかしがらない♡
ちやーんと中までしつかりお掃除してあげるから……♡

あ、もう上がってきちやった？
お尻もおちんちんもヒクヒク震えてるの分かつちやう♡
仕方ないよね、弱い所まとめてナデナデナメナメされてるもんね♡
良いですよー♡いつでも好きな時にいつぱい出しっで♡
んふっ、えううっ……♡濃ゆいのいつぱい出ちやうね♡
いつてる間もナデナデナメナメ♡してあげる♡
すごい♡どっくんどっくん脈打つてお射精止まらないね♡
最後までママのお手々とお舌で甘やかしちやうから、
ちやーんと全部お漏らし♡しましやうね♡



ほーら。私の膣内、見える？
まだ出したりないでしょ、もつと出したいでしょ？
今からここで又キヌキしてあげるから
いっぱいおつきさせるとだよ♡

くすくす♡もつと甘やかされたくておちんちんも
「我慢出来ないよーお射精したいよー」って勃つきしてる♡
こんなちっちゃいママに欲情するなんてイケない子だね♡
いっよー♡まだまだいっぱい甘やかしてあげる♡
ママの中に、おいで♡



んっふ、アっ、あはっ♡
泣き虫おちんちんなのに大っきさばっかり立派でえ、
ほんと、可愛いなあ♡全部蕩かしちやいたいくらいだっ♡
アはっ、はあっ♡ほらほら、がんばれがんばれ♡
いちにー♡いちにー♡ぱんぱんっ♡ぱんぱんっ♡
偉いぞっ♡その調子でえ、
君の恥ずかしいところいらっばい見せてっ♡
ちっちゃいママに欲情しちゃうイケないガチガチおちんちんで
子供まんこぬぼぬぼっでしてえっ♡



あつ、んんっ、あらあら、どうしたのー♡
「出ちやう出ちやう」つて必死になつてえ♡
大丈夫大丈夫♡おまんこにお射精していいんだよ♡
ちつとも恥ずかしくないよー♡
君のかつこいいお射精、全部見ててあげる♡
君の赤ちやんお射精、全部おまんこで受け止めてあげる♡
君のみんなに見られちや、いけけない所、
ぜんぶせーんぶ♡ママに見せて♡

アはっ、ほらっ、出てる出てる♡
ママの中に……おかえり♡



お射精よく出来ました♡偉い偉い♡
もう、こんなに出して……どれだけ溜めてたんだか♡
ちゃんと自分でもヌキヌキしないと身体に悪いぞー♡
全く、あまえんぼさんだなあ♡こんなじやいつまで経っても
私から乳離れ出来ないぞ♡
……「それでも良い」？
もー、そんな事言われちやあ堪らないなあ……♡
髓の根まで甘やかして蕩かして、君のイケない所たっぷり舐けて♡
立派なオトナになれるように「教育」してあげなきゃ、だね♡



橙の「シチューが食べたい」という泣きのおねだりに、折角準備した鍋の具を泣く泣く冷蔵庫へ戻す。しかし私も立派な主、この程度の駄々っ子など慣れたもの。更には橙に八雲式のシチューの味を教える良い機会でもあった。具材よし、下ごしらえよし。後はルー……八雲ホワイトシチューの最たる特徴かつ特級の調味料——人間の精液を確保するのみだ。早速三匹を拉致もとい調達し、すでに幾つかの式神を貼り付けた。「精液即充填」「常時発情」「射精の度に知性半減」。この他幾つものルー搾取用の式を付与し、仕込みに入る。

手始めに尻虐から入り、そのまま動けぬ獲物から種を搾る。ちんぐり返し搾精の羞恥が堪えるのか苦しげな呻きが聞こえるが、いずれ『前立腺感度増大』の式が染み屈辱も快楽に蕩けるだろう。「なあに、大抵の雄はこれで直ぐ堕ちてしまうさ」と、言い終わると同時に五度目の射精。肛門が連動してキュウキュウと指を締め付けてはもう出ませんとも言いたげに反抗してくる。自らの吐精量の限界を外されているのだから無理もないのだが、折角の陵辱、更に彼の奥底を小突きながらその精が無限であると教えてやるとする。



今度は用意していた三成で解れた直腸を犯す。
「直腸感度∞」の中での逆アナル姦通を前にして、
何度も仰け反つては雌イキとトコロテン射精を放つ。
「そろそろたっぷりひり出せ。出せた分だけ褒美も約束しよう。
……味わつてみたいだろう？ 私の中を」
元より言う予定のなかつた言葉を、いつの間にか口にする。
その乱れ様についてしか私も火照りが止められずにいるらしい。
うねつて締め付ける肛門を思い切り貫いて失態を紛らわせると、
再び彼の精液がビュルと跳ね、漂う片栗の香りを更に濃くさせた。

式神を剥がせば直ぐにでも気絶するだろうと思つていたのだが、
補助程度に入れていた「恋慕自動上昇」が余程効いていたらしい。
猿じみた乱暴な腰使いから、想定外の量・濃度の種が射出され
ぶちゅつぶちゅと下品な音を立てて子宮を迸る。
興が乗った私もまた甘い言葉で彼の耳をついばんでしまふ。
互いの身体も粘膜もザーメンにまみれたころ、ふと
「……あ、私の体液と混じつては流石に味で察されるか？」
などと思いはするものの、そんな懸念も性の熱気の中に蕩けて消え、
穿ち穿たれのまぐわいは続く。
ストックが多くて損はない。急なわがままが悪いのだ。
明日から二週間はシチュエーで良いだろう……。



博麗神社の狛犬が壊されたと聞き、
異変の兆しかあやかしの怨嗟かと疑り調べてみれば
全く……ただの稚児のいたずらとはな。
たまの暇だったから良かったもの、多忙な八雲の式神に
面倒事を運んできた罪は重いぞ？
少しばかり動けぬ石像の心地でも味わせてやろうじゃないか。

こうして狛犬に乘られる気分はどうだ？
聞くまでもないと見えるが、あいにく我が尾に包まれていては
悲鳴か嬌声かも分かり難いな。
狐の毛むくじやらの耳にも聞こえるように啼いておくれ？



あー、すまん。我が尾の機嫌も悪いらしい。
ぐずぐずの顔も隙だらけの脇も色気のない胸板も、
毛先が這い擦ってはお前に仕置きしたがっている。
……擦りたい？ 苦しい？ 別に悶え狂っても構わんが……
悶えるだけ腰が跳ねてペニス擦れるだけだ。
これ以上イきたくないのであれば我慢してみろ？

餓鬼の癖に汁の量ばかりは立派だな。
私の股ぐらがあつと言う間に精液溜まりだ。
こ汚い種が何度も打ち上げて、必死に腿を孕ませたがって……
幼い内から無駄射精癖がついてしまったのは
女の相手など務まらなくなるでしようなあ……♡



少しばかり思いついたよ。
今度はこうして尻で扱いてやる。
先程は腿での戯れ事であったが、もし1分耐えられたなら
私の中に挿入れさせてやるうじやないか。
お前のような子供、牝穴の感触も知らぬままに壊してしまおうのは
流石に気が引けるからな。

だが、もしもその程度も耐えられないなら……
くすくす、そうだなあ……より手厳しい罰が必要だな？
お前にお似合いの姿に二から調教してやるうじやないか。
なあに、既にこれだけいき散らかしたんだ。1分程度楽勝だろう？



……ふん、加減してやったというのに、ものの数秒で果てるとは。
1分数える間に何度イった？5度か？6度か？
兎も角、みこすり半以下のつまらんオスだという事は十分理解したよ。
精通からやり直した方がいんじゃないか？
……つと。お前には精通すら勿体無かったな。
折角餓鬼の内に駄目オスと気づかせてやったんだ。
精通なぞよりお前に向いたヨガリ方を仕込んでやらんとな……？



さて、気分は如何かな？

全裸に四つん這いのままの四肢拘束、

少々五月蠅い以外は立派な「狛犬」じゃあないか。

……何をきやんきやんと喚いでいる。

お前が壊した狛犬の代わりを用意する必要があるだろう？

狛犬とは雨の日も風の日も四肢を張り魔を遠ざけるもの、
お前も立派な狛犬になって貰おうじゃないか。

ガッ



……あーあー。五月蠅い五月蠅い。
やめろだの離せだのと、自らのしでかしも詫びずに
吠えて喚いで、そのくせ罰すら受け入れたくないと。
貴様のような情けないオスには、罰だけでなく
躰も必要のようだなあ？

くすくす、これが何だか分かるか？
ペニスバンドと言ってなあ、
情けないオスの性根を矯正する為の道具さ。
お前のお粗末なものとは比べ物にならないほど
太くて長あい、肉棒の形をしているのが分かるだろう？





こら、ガクガクと暴れ回る狛犬がどこにいる？
気を持って。背筋を張れ。ケツ穴もつと締めてみる？
……おいおい、その程度でオスの腰使いが止められるものが。
せめてオス失格ならば、メスとして役立つてみる？
そうらつ、腸の奥まで拓いてやる。
ギリギリまで抜いてツ、根本まで打ち込んでツ、
何度でも何度でも掘削してやる。お前が壊れるまでなあ？

……つ、突かれて種を漏らすとはやはりメスだな。
ゴリゴリと抉られるのもう癖になってしまったか？
くふふつ、この、変態。
お望み通りケツから一滴残らず搾り取ってやるよ……



おお、どうした小僧。あの時の仕置き以来だな。
……なる程なる程、以前の折檻が癖になってしまったか？
しかしなあ、うーむ、私も暇ではないのだが……。
ああそうだ、丁度そこに犬の真似事の為の玩具がある。
そいつで私に「媚びて」みる？

くふふつ、これはお見事。立派な犬ころ同然だ。
粗末なペニスと揺さぶって欲情する様も含めて、
まさに盛りのついた駄犬といった所。
……だが、そのわざわざ勃起して主張するペニス、
自分が「メス」だということを忘れたようだな？
仕方あるまい。それではまた、賤けるとしよう。

……なんだ。何か用か。この前確かに聞こえるように言った筈だが

お前のような人間達を襲い、抱いてやるのは、畏れるからだ。ふん、最初はまあお前もなかなが具合も良かったよ。捻じ込む指を増やす度に、ぶち込むモノをえぐくしてやる度に、そんなの無理、入らないって暴れて、もがいて、畏れに畏れで……しかしもう、今もガバガバにモノを欲しがる穴にその面影はない。堕ちきつた獲物はじゃぶり尽くして萎びた干物よ。心の底まで悦んで、愉しんで、受け入れてしまつて畏れない、噛み締めてやる魅力も無い……と。



………おおう。そんなに。いや匂いでわかる。私好みの油揚げ……結構な上モノじゃないか。はは。そんなに欲しいか。はした金はたいて気を引いて。

そうだよなあ、まあ忘れられるわけ無いよなあ？あれだけ雄の尊厳を踏み躪られて、ろくな勃起も出来なくなつてお尻でないとイケない体になつぷりと仕込まれて……。そしてある日、魅力が無いと突然ポイ捨てにされて。他の誰かにケツのはじかない疼きを鎮めて下さい等とも言えずいや九尾の代わりが他人に勤まるなど勘違いしないだけ殊勝だな。

はあ、いいだろう。
その責任くらいはとつてやるのも筋というものなんだろうな。
面倒な加減はしない。ぶっ壊されても文句は言うなよ……？

……なんて前置きしてやったのが馬鹿みたいだな。
指どころか手首……いや……うわあ腕まで入って……
しかもこんな雑に出し入れするだけで善がるじやないか？
全く……はじけたなさは豚にも劣るな。雄どころか人も辞めたか？
こんなのでイイなら今度どこまで入るか試してみたらどうだ？
腕を乱暴に突っ込まれて節操なく善がれるんだからなあ？
丸太でも入るだろう？私の手を煩わせずとも

ほら言え。これが好きなんだろう？
獣みたいに組み伏せられて、レイプされるのがさあつ！
しかも穴をほじられるだけでこんなにも善がれるなんて……
もう雄なんてすっかり辞めてしまっただなあ♡

しかし……随分とか細く喘ぐじやないか。物足りないか？
九尾に腰を振らせておいて乱れないなんて最早不敬だな。
……何をいまさら青ざめている。もう遅いわ♡

……コレの出番が来るとはなあ？
予め用意していた器具の中ではイボも太さも段違いだ。
はん……見た瞬間ひくつかせおつで。
欲しい欲しいと叫んでいるようだ。悍ましい。

ほら……入れるぞ。んっ……
うわ……ん……何だその声……
ずぼずぼ……ん……何だその声……
コレですら直に足りない穴になっちまいそうだなあ？
面倒だし……つそ淫獣にでも引き合わせてやろうか？
狐や狼に似た姿形で、いつも醜悪な勃起をぶら下げてる、
穴があれば舌も腰も休まず動かす、お似合いのケダモノよ。

お前なぞ見つかった瞬間その雌犬以下の穴を嗅ぎつけられて、
押し倒されてひん剥かれて即交尾されるだろうなあ？
最悪巢穴に連れ去られて肉便器として飼われるかもなあ？

……おいおい、今の話でケツが締まるのか？
獣にも欲情出来るか？本当に堕ちたものだな。
それに……今手前は何をしたかわかっているのか？
この私を差し置いて他の雌の顔で興奮か？ああ？
舐められたものだ。いよいよ心底忘れたらしいな
妖怪に喰われる、殺されるかもしれないという畏れを。

……気が変わった。貴様は今晚で完全にぶっ壊す。
誰を怒らせたのかを思い知らせてやる……♡

ハ……

ふりつ、ふりつ、ふりつ♡ははっ♡その声、悪くないぞ♡
 ちよつとは昔の良質な獲物に戻つてきたじゃないか♡
 ほら好きだけ叫べ♡絶対に止めてあげないからなっ♡
 ああ、昂つてきたな……♡やれば出来るじゃないか♡
 なんだ、なのにお前はもうへとへとかが？
 久々に激しくされて気をやつてしまひそうかあ？
 欲しがった癖に倒れるのは早いなんて本当に失礼な奴だ。

そうだ……罰を与えるとしよう。
 これから5秒以上、私を誘うの言葉を吐けなくなったら、
 腸を引きずり出して生きてそのまま喰らってくれよう♡

はは♡そうだその意気だ♡
 ほら早くやれ♡汚らしく媚びろ♡
 必死になつて私を誘え♡

あはははははっ♡またイッたか♡
 びゆーびゆー撒き散らして♡牛さんみたいで可愛いぞ♡
 でもほら……私を誘う言葉が良く聞こえなくなつたぞ♡
 あーあ、なんだかお腹空いてきちやっつたなあ……♡

……よしよし♡いきながらよく頑張りましたね♡
 メスイキ余韻にも浸れないままケツ穴ごりごり♡
 妖怪の力づくで休まずレインプしてやるからな♡
 覚悟しておけよ♡5秒何も言えなかつたら終わりだからなあ♡

「やあまた会ったな。前に橙に抱かれて如何ほどぶりか？
ご覧よ。お陰様であの橙も力を蓄えてこんなにも尻尾が増えたよ
お礼がしたいって言うてなあ……ほら見ろ♡がっちがちだ♡
凄いだろ？お前の為に精液溜め込んで来たようだよ？」

「ふふ……本当は嫌か？逃げたいか？そうかそうか♡
怪我も痛くもなくただただ気持ちよくされまくっただけなのに♡
快楽を受け入れられなくらい嫌い嫌いで恥ずかしくて……
いいんだぞ？嫌なら巫女に助けを呼ぶのも良い♡
「妖怪にケツ掘られて感じてました」なんて泣きつけるならなあ♡
勘の良いあの子が白い目で見返す様が容易に想像できるがなあ♡
ふふいやはりのこの方法は優秀だな……♡
この橙の成長と、助けも呼べない今のお前が立派な証拠だ♡



「ほおら、橙がもう我慢できないらしい♡
尻尾がぐるぐる巻き付いて……何だそれは♡抵抗のつもりか
……はい♡あーあ、捕まっちゃった♡
九つに増えたから尻尾だけでえっちな恰好させられちゃう♡
ふふ、見てくれよこの橙の興奮っぷり♡
ずっとお前の抱き心地が忘れられなかつたみたいでなあ？
初めてを奪われ泣き叫ぶ、とても雄とは思えない様さあ♡
尻尾で縛られてケツ掘られて、やだよだ♡叫んでた癖に♡
今みたいにはしたなくおっ勃つて♡気持ちよかつたんだよなあ♡
ああこ隠すな隠すな♡可愛い♡股開かされてるんだ♡
出しちゃう時まで尻尾で恥ずかしく♡





くふ、どうやらこのまま二度イかせてあげるといいたぞ？
 尻尾に捕らわれた無様なお前が気に入らぬようだ
 ほおら...逃げられぬまましこぬほぬほ
 気持ちいいんだな♡お尻きゅんきゅんつでさせちゃつて...
 いくら腰よじらせても追いかけてぬほほされちゃうな♡
 ああそれとも...もつと欲しく誘つてるのか？
 やらしききゆうきゆう食らい付いて...♡
 お尻も情熱的にふりふりして...♡
 まるで雄の精をせがむ発情した雌のようだな♡

...橙、構わないぞ。イかせてやったら、好きにしろ。
 このエロ雌にたっぷりご褒美を注いでやれ...♡



くはは♡急に尻尾が激しくなつたなあ♡
 おちんちん尻尾でコかれてお尻ほじられるのがそんなにイヤか♡
 安心しろ♡お前がイくまでしごきこするの止めないつてさ♡
 お前をとつとイかせてぶち犯したくて仕方ないらしい♡
 良かったな、もうおちんちんのついた雌としか見られてないぞ♡
 お♡もう出そうか♡なあなあ出したらお尻犯されちゃうぞ♡
 我慢しなくていいのかなあ...♡

つと...あーあ、イカされちゃうたな♡我慢出来なかつたなあ♡
 そんなに掘られたかつたか♡欲しくて欲しくて仕方ないか♡
 ...だつてさ橙。私に構う事は無い。
 抱いで犯して女の子にして、お前のものにしてやるといふ...♡

ふふふ、凄いな♡気持ちいい♡……♡
橙はこの向きで犯してやるのが好きなんだ♡わかるぞ♡
尻尾でやさしいポリズのまま動けない様も見るの嬉しいし♡
犯されイカされ恥ずかしがるお前の顔を見てやれるもんな♡

こら♡顔背けるな♡つと……♡ふふ♡
尻尾が増えただけなら♡どんな抵抗もすぐぐるぐる巻き♡
首まで巻かれて無理矢理見つめ合わせられちゃうな♡
……♡あ、橙が本気の獣の腰使いし始めちゃったなあ♡
……♡すごい出し入れ♡気持ちいいのから絶対に逃がさない♡
歯向かう生意気な雌にお仕置きだとき♡
孕ませるまで注意込込むって言うてるなあ♡

ぽん♡

とちゅ♡とちゅ♡

おん♡おん♡

ぽん♡

びゅ♡

あま♡

わかる♡

あま♡

ふふふ♡♡♡
いいぞ♡イイイ♡のか？もしもし♡ちやつて♡
お前は妖怪の獲物なんだ♡だじたつて絶対止めてやらないぞ♡
助けも呼べず逃げられぬ♡雌として見初められた番なんだ♡
なのにも情けなくびゅ♡びゅ♡しちゃうはしたない雌♡で証♡
垂れ流して見せてみる♡♡♡

……♡ふふ……♡くふふふ♡♡♡
わかるな？今お前は中出し♡されてるんだぞ♡
雄なの？レイプされる女の子みたいになあ♡♡♡
なの？気持ちいいのか♡嫌と言えないか♡♡♡



ああ良い、やはりこの方法は効率としては最良だろうか。
 傷付けず、畏怖を稼ぐ効率としては現状最有力候補筆頭だ。
 そして、こんな気持ちいいのには、ちゃんど抗われ続けるのもミソだな。
 慣れは、畏れの味を落とす。最悪餌風情に愛人扱いされて興奮も醒める。
 雄として、真の当にやらせてやっても、人間は精魂尽きるのも早いしな。
 と、ころがメスイキならば先に萎えられようともお構いなし。
 大抵の雄が初物故、間違いない、妖怪心を操る驚愕と畏怖が愉しめる。
 そして、雌の悦びを認められず、恥じらい続けるわ、快楽を否定したがるわ、
 なかなか新鮮な「食事」の機会を長続きさせてくれる……♡

……ふふ、そうだな。橙。そろそろ私も「食事」と洒落こもうか。
 おい、おい、何だその顔は♡お前が可愛いのがいけないんだらうか♡
 ふふ、ほら見ろ♡お前があまりにも良く善がるものだからなあ？
 私のココも、卑しいメスに情けをくれてやりたくて仕方なさそうだ♡
 それを見逃さずにお気に入り、差し出す橙はやはり成長したな♡
 どれ次は私がお前を雌にしてやろう♡なあに遠慮するな♡
 九尾の子種を授かれるんだ♡鳴いて喜べよ♡ふふふ……♡

ああそれにしても、どうして今まで気付かなかつたのだらうか。
 早速明日にでも人里に紛れて、目ぼしい雄を見繕わねば。
 ふふ、安心しろ。直にお前も寂しくなくなる♡
 すぐにでも「お仲間」を傍に侍らせてやるからな♡
 ふふふふ……♡





話さ



モヤ

モヤ
モヤ



以上が
食糧問題解決案の
レポートになります

長期的にやっていると
いつかバレるところか
自ら秘匿しつつ
進んで尻を差し出す
人間も生じまして

そしてですね、
今日確信しましたので
ログに反映出来て
おりませんが……

しゅる

今日は急遽一人、
そうなった良い感じの
「試食」サンプルも
お持ちしました

るる
……



これで万事
解決ですね!!




※男の子はスタッフが責任を持って復元しお家に送りました

初めまして。普段は逆レイプ・逆アナル小説をもそもそしている者です。
2021年年始にむむむ先生とのDMの中でふっと発案し動き出した当合同、
多種多様で素敵な攻め藍様にいっぱい文字入れ出来るまたとない経験となりました。
拙い主催でご迷惑おかけしましたが、参加者の皆様、そして
主催の片棒を担いで頂いたむむむ様。本当にありがとうございました。

「うわなり」は「鬪る」の別字を女性上位風に解釈し掲題させて頂きましたが、
元は江戸頃まで存在した、前妻・後妻が互いの友人を集めて乱闘騒ぎする風習だそうです。
幻想郷の嫩打ちはまだ……過激なお旦那様の奪い合いとなりそうで、興奮しますね？
そいではまた。

えぐちオヤギ

 えぐち 2021/01/23
藍様逆レ合同だよ！(MMR)

 むむむ 2021/01/23
なんだとお…

↑全ての発端となったDM

藍様は大分丸くなったと思います。男言葉で勇むあの姿は遠い昔。
むむむは幻想郷の入り方はわからぬ。しかし藍様攻めの欠如には人一倍敏感だった。
その想いがついに我慢しきれず、ふとした出来事から決起した結果、
少ない語彙力をフル回転させて今に至ります。
正直まともに小説というかSSというかを書き分ける意識で作ったのは初めてな上、
久々の合同及び共同作業にてご迷惑をおかけしまくってしまいました。
甲斐あって色々な藍様の攻めを網羅する事が出来ました。
妙だな……網羅と言う割にやたら逆アナルが多いな……？
参加者の方々におかれましてはお忙しい中ご協力ありがとうございました

むむむ

嫩九尾の搾精報告 発行者(順不同)
(うわなりきゅうびのさくせいほうこく)

むむむ(とびひざげり)
koakumatamashii@hotmail.com
rstrf2000@yahoo.co.jp
Twitter: __mumumu
pixiv: <http://www.pixiv.net/users/4576>

えぐちオヤギ(うしのこく文庫)
eguchi.oyagi@gmail.com
Twitter: erotic_oyagy
pixiv: <https://www.pixiv.net/users/13074177>

初版：2021/12/31
コミックマーケット99

印刷：トム出版

上記発行者以外による
無断転載を禁じます



いくたたかのん



梅澤一手



すたーきー



わいどきやっと



まきん



とるく練治



そうやん



ふんぼ



カゲヒト



木陰



ぎん



にっしっし



宮瀬ぬっこ



オザワヨシ



ジーノ



おむむ



えぐちオヤギ

とびひざげり
×
うしのこく文庫